

結・ゆい・メイト

～第12号～

姫路こころの事業団が大事にしていること

1. 自分らしく主体的に『生きる』ことを 勇気をもって選択できるようサポートする
2. 自分を見つめる勇気、思いやりを行動に移す勇気を育む
3. 人と人とのつながり、人と自然とのつながり、人と地域社会とのつながりを回復する



悲しいとき・苦しいとき、一人で悩んでいないで、話してみませんか？ 同じ体験をしたもの同士話し合うことで糸口が見つかるかもしれません。



☆ 語り合いませんか“思春期のこころと体の葛藤”森下一先生の講演を聴いて

森下先生の講演会は、私にとっても参考になりました。今、私のクラスには3人の子供たちがいるのですが、その子供達に一番大切なのは安心できる場だと思いました。人間は、誰だって落ち着く場所がほしいものです。子供なら、なおさらそうです。こんな簡単なことさえ気付いていなかった私は、なんて情けないのだろうと思いました。

子育てについて、私が思うことは「無償の愛だ」ということです。そして、基本は夫婦愛だと思います。だから、私は結婚生活を続けようと思った時から、夫をひたすら愛して、子供には無償の愛を注ぎました。今もそうです。子供のあるがママを受け入れています。子供と私は別の人間だけど、子供の幸せは私の幸せです。そして、私は私で幸せを作り出さなければいけないと思っています。難しいですけど、今はつかず離れず子供達の生活を見守っています。

前に演奏会の時に連れて行った子が、髪を振り乱して必死で育てた息子の子供です。あの日、息子夫婦から「どうしても一日子供の子守をしてほしい。」と言われて見ていたのです。息子から頼まれたことは、必ず引き受けるようにしています。無償の愛でひたすら愛するようにしています。でも、それが正しいことか間違っていることか私には分かりません。人生が続く限り、子育てに結論なんかないと思います。だから、人の話を聞いて何が真理か考えなければいけないと思っています。つまり、子育ては、一生勉強であり、挑戦であり、本当に愛おいしいということです。子供ぐらい愛おいしいものはないです。そう思っています

駒井敏照

☆ 語り合いませんか“思春期のころと体の葛藤”森下先生講演を聴いて

(9月18日の講演会「思春期の親子の葛藤の大切さ」の内容も含めて)

今回、森下先生のお話の基調には「主体的に自律に生きる」ことの重要性がより鮮明に響いていました。

主体的に自律に生きるとは、自分で感じ、自分で考え、自分で判断し、自分で行動し、社会の役にたつことにも身を投じる。自発性から生まれた行動と失敗しても失敗しても挑戦していく。そして体験をする。このように行為を通して学び成果を感動し自分を超越する体験が主体性を育てていくのです。

管理の原則に支配された学校・社会・家庭の中では、子供にこの自主性(自律)の力はつきません。

動けなくなってしまう子供A君の例で見ると

* 心を開いて本気で生きていたかどうかわからない

* 部活で元気そうに活動していても、それはふりをしているだけだった

* 恥をかくこと、失敗することから自分を見つめ自分を超越する体験に繋がっていなかった

* 本気で何かしたいと思って行った体験がない。何をしたいのかわからない

* 家族を信頼していない

* 中学へ入る頃、父親への暴力が始まり自分の欲求制御が攻撃衝動となった

もう、20年前から日本は仮面家族、演劇家族と言われていた。子供は信頼出来る大人に出会うことが、とても難しくなっていました。自分の思いを素直に表現出来る環境は整いませんでした。

生野学園(森下先生が主宰されている不登校の子供たちが通うフリースペース)に通っていた子供達が劇活動をやっていましたが、自分たちで「俺たちのいきざま」という戯曲をつくり、不登校で苦しんでいたA君は、自らお父さん役をする。そして劇中で息子に次のようなセリフを言う。「もう お前の好きなようにしてええぞ。」「お前が好きだよ。」そしてA君は言う。

最初は、学校に問題があると思った。次は、親に問題があると思った。でもよく考えてみると、どんな環境であろうと「自分が主体的に生きよう」としなかった自分が一番悪いと思えるようになった。

あるとき、A君は診療にきて「もう僕あかんは。」と言いつつ夜ガソリンをかぶって、死のうとした。

それに気付いたお父さんは、A君に抱きついて「お父さんも一緒にいく。火をつけえ。」と咄嗟の命がけの行動によって、A君はお父さんへの深いところでの信頼をとりもどした。

共に死ぬことを覚悟しないと、子供を生かすことはできない。本当に心が通う本物の家族になった時、子供は動きだすのです。

俳優 米倉齊加年が若いころ先輩である宇野重吉にたずねた。

「どうしたら よい演技ができるのでしょうか」と。

宇野は、「思えば出る。こころの中に深く深く思えば自然に演技が出る。」と答えた。

できるではなく 出ると言ったそうです。

“語られざる哲学”—三木 清 著

「人々は何故 “幸せ”ということをもっと真剣に考えないのやろ」「幸せ」とは一人格になること、よき人になること(自分中心でなく)自分に良く問いなさい外にあるのでない。自分の中にあるのです。幸せになるためには。自分の心を開拓すれば 良き人に出会える

心の中に深く深く思えば、体を通して行動が自然に出る。果たして私たちは、日々このように深く自分のこころをみつめ、自分のこころに添った行動をとっているのでしょうか。このことを問いながら、森下先生の講演をまとめました。

三好衣子

☆ ふくろうの会より

◎ふきのとうの講演会に参加して「父親として若者にかかわりて」 サポートセンターKOAH 内藤弘司氏

息子さんが不登校になってから父親としていつも息子に寄り添い、あらゆる可能性を探して動いたがうまくいかなかった。7年ほどたったあるとき、涙を流して弟と話す息子さんを見て自分の対応の間違いに気づいたことを丁寧に話してくださいました。話の中から私が学んだことは次のようなことです。

1. 親の立場から「〇〇してやる」では親がいくら息子のためだと確信していても未経験な息子(若者)の共感
は得られず、息子を動かすことはできない。
2. まず、息子の視線まで自分が降りて、きちっと話を聴くことが大切だ。そのとき、「一人ではないんだよ。」「
ともに悩みを解消していこう。」というサインを出しながら聴くこと。
3. 評価は減点主義でなく、小さなことでもできたら評価してやる、認める、ほめるという加点主義でいく。それ
が自信につながる。
4. 引きこもっている時は「あんたは他人にはできない貴重な体験をしているんだ。」ととらえ、伝えてあげる。
5. 信頼関係の再構築なのだ。
6. この姿勢は家族(父親と息子)関係のみならず、今の若者を育てようと言う意味で職場でも同じだ。
7. 家庭の中では、父親も妻の前では子供になる部分がある。女性はそれらを受け止めてほしいので、家庭の
中だけにおいてストレスをためる事の無いように、趣味の仲間や地域、その他外で発散する場所を持つてほ
しい。

K・Y

◎第24回、灘商店会バザーに参加して

出席者は会員:8家族。スタッフ:3名。収益金は:43,056円でした。ご協力ありがとうございました。

午前8時30分に事業団に集合、商品の搬入、午前10時開店と時間の流れと共にみんなの力が一つになっ
て、てきぱきと活動していました。開店からのお客の波が一段落したとき、花の苗の競り売りをしてもらいました。

これがおもしろいこと。後の反省会にも、特に競り売りが楽しかったという感想が多かったです。午後は客足も
ぼつぼつになっていましたが、閉店の少し前になって、他の出店者やイベントのスタッフが来て、残った商品をた
くさん買ってくれました。反省会には、「あんなに売れるとは思っていなかった。もう少しはじめの値段を上げても
いいね。」という感想も出ていました。

ふくろうの会のバザーとは直接関係がないのですが、会場に手作りのおみこしが2基ありました。それは、ブラ
ジルから移り住んで来られたKさんというボランティアの方の作品なのです。事業団の木工室で毎日こつこつと
作られていたものです。ふくろうの若者も時々手伝ったり見学したりしていたことをお知らせしておきます。

☆「こころと花と緑と」～人と人とのつながりを求めて～の講演会を聞いて

平田先生の講演会に参加させて頂きました。和やかな雰囲気の中、簡単なゲームをします。先生より「答えは絶
対書いて下さい。班で相談し、班でも答えを出して下さい」と言われました。先生は、個人では答えが合っているの
に相談する事で正しい答えが間違いになってしまう事も、また正しい答えになる事があるという事や人が多くなると
少数の正しい意見ほど消えてしまう事が多くなるので指導者や代表者の方には小さな意見にも耳を傾ける大切さ
を持って欲しいとのお話に深くうなずいてしまいました。私自身も家庭での子供の接し方に人事ではないと反省さ
せられました。興味のあるお話に楽しく時間を過す事が出来ました。

木庭理美

☆「こころと花と緑と」～人と人とのつながりを求めて～の講演会を聞いて

11月13日(日)、姫路市白浜公民館で兵庫県立大学教授、平田 富士男先生のお話を聞きました。

淡路景観園芸学校の紹介から始まったお話でした。設備が充実し、広大な敷地を有した美しい学校だなあと思いました。講座では塀のある家とない家の街並みと写真を見比べた時にオープンガーデンの通りは花や緑にあふれ地域が一体化している様でした。みんなで美しい街をつくろうとして、工夫している様にも思いました。その他、洗濯物の干し方から住民の意識を解説し



てください、個人個人の意識のあり方で街づくりはできているのだと改めて思いました。ゲームやワークショップでは話し合う、コミュニケーションをするということが、パワーとなりかつ少数意見の中にも本当に価値あることが存在するという目に見える“気づき”となり“集まる”“話す”ということで、一人一人の小さな力から大きな意味あることへとつながることが実感できました。あっという間の2時間でしたが、心が豊かになりあたたかい気持ちを抱いて帰ることができました。

ひとにやさしいまちづくり会 岩田温美

☆ まみキッチン

まみキッチンの料理のモットーは「料理は心」です。今、レシピを使つての料理はしていません。一つのメニューを決めて、それに見合った材料を用意します。味付けは経験とカンで決まりますので、適当に味をつけます。メニューは、ありふれたものと決めておりますが、機会があれば、特別のメニューを作りたいと思います。よかったら、出来上がった料理を食べながら、みんなで楽しく語らいをしませんか。いつでもお待ちしております

メニュー予定

12月 1日、チキンライス
8日、筑前煮
15日、豚肉のしょうが焼
22日、メンチカツ
1月12日、三色丼
19日、ぎょうざ
26日、ムニエル

井上麻美

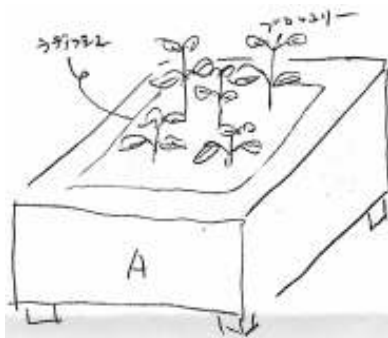
☆ 畑の土いじりで「こころ」を「アース」しよう！！

木枠の野菜畑について

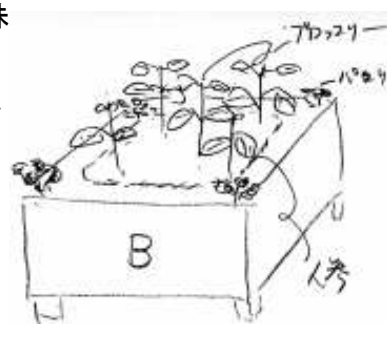
- ◎ラディッシュ・・・11月10日、直径3cmで鮮やかな赤カブを収穫しました
- ◎小かぶ・・・まだ細長い状態です。様子を見る為にそっと抜いてみて、また土に埋めました。
- ◎サラダ用水菜・・・ナメクジが先に食べました次は15cmくらいまで育て、私たちの口に入りました。
- ◎サラダ用ほうれん草・・・ナメクジが先に食べましたのでビールで退治
- ◎ブロッコリー・・・まだ育っていません。

山崎るみ

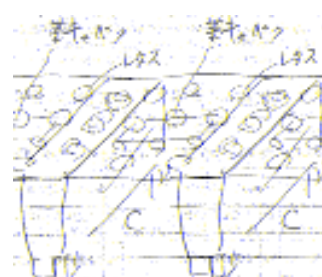
☆ 畑の土いじりで「こころ」を「アース」しよう！！



9月9日(金)作付け
 ブロッコリー、5株
 ラディッシュ
 (二十日ダイコン)
 9月11日(火)発芽



◎にんじんは収穫できず(爪楊枝の大きさにしか育たず)
 ◎ブロッコリーは直径15cmのものが収穫できました
 ◎ラディッシュは直径1~2cmの大小様々な大きさで収穫数が少なかった
 深さが浅いぶんだけ根菜は育ちが悪いようです。その点、葉野菜は良く育ち、
 レタスやブロッコリーは沢山収穫する事が出来ました。日照時間が短いわり
 にはレタスがよく育っていました。



津田このみ保育園

お知らせコーナー

◆ ふくろうの会

定例会 in イーグレ姫路 どしどし見学にいらして下さい

日 時 : 12月10日(土) 13:00~

集合場所 : 1階エスカレータ付近

定例会 in 姫路こころの事業団「なべの会(今年の納会)」多くのご参加をお待ちしています。

日 時 : 12月23日(金) 13:00~

参加費 : 実費(参加人数の頭割り)

○ 12月の第4週は大掃除の週になります。ご協力をお願いします。

○ ふくろうの会の口座開設ができました。ご興味のある方は事務局までお問合せ願います。

◆ 「EMげんき玉って何？」～顕微鏡で正体を確かめよう!!～

講 師 : 播磨環境会議会員、兵庫県指導林家(県知事任命) 松崎勇一

日 時 : 12月1日(日) 15:30~

参加費 : 無料

場 所 : 姫路市立灘中学校、理科室

赤穂御崎、相生湾、芦屋浜など広範囲にEMげんき玉を小・中学校地域を巻き込んでつくり
 川や海の浄化活動に精力的に取り組んでおられる松崎氏のお話を聞く会です。

興味のある方は、是非ご参加下さい

◆ 「2005 白浜夢ナリエ」一人と人とのつながりを求めて～光ライトアップ～

日 時 : 12月17日(土)小雨決行

プログラム

場 所 : 松原八幡神社前

16:30 開会、みこしかつぎ

参加費 : 無料

17:00~ 点灯式、和太鼓演奏、ミニコンサート

後 援 : 姫路市教育委員

20:00 消灯

子どもは社会の宝者です。みんなそれぞれにすばらしい可能性を持っています。

その子どもたちが健やかに成長するよう、親・先生・地域の人々が力を合わせて見守りたいものです。

子どもたち一人一人が、自分の個性を輝かせお互いに認め合い支え合いながら、夢にむかって進んでほしいという願いから「白浜夢ナリエ」を企画しました。

◆ 「見る、聴く、話す」へのお誘い(バイオグラフィーワーク)

講師：近見 富美子

日時：1月13日(金)18時～21時(受付17:30～)
1月14日(土)10時～13時、14時～17時(受付9:30～)

場所：姫路市民会館、第1教室及び第1会議室

参加費：8,500円(3コマ通し)3コマ通しが無理な場合は、お問合せ下さい

定員：20名

申込みめきり日
1月12日(木)

◆ 第12回 語り合いませんか～学校って何だろう～学校に行かないもうひとつの学びと育ち

講師：ホームスクーリング・ネットひめじ代表 久貝 登美子

日時：1月21日(土)13:30～16:30 (受付13:00～)

場所：姫路市自治福祉会館 大会議室(7F)

参加費：1,000円、会員800円

定員：150名(先着順)

申込みめきり日
1月20日(金)

◆ 自供法体操(講師:中橋) 12月12日、1月23日、14時～16時

身体ほぐしの体操、「心と体の自供法」といいます。自分で自分の身体と心の状態を知り、心身ともに癒し、心地よい自分の心と体を体感します。子育てとは自分を育て・・・家庭、他人との関係で心身ともにバランスを壊し、ストレス、体調不良、不安が起ってきます。このツールを追求し、根本から開放していきましょう。ゆっくり、じっくり！体調の不調は会報のチャンスです。自分と向かい合ってみませんか？どちら日も無料体験で開催します。ぜひ、いらしてください。

◆ Fの会(担当:三好) 第4火曜日

female(女性)のF,first step(最初の一步)のFの会をしています。
それ以外の週は誰でも遊びに来てください。

◆ まみキッチン & ピンポン & 楽しみ隊 毎週木曜日 19時～21時

どなたにでもオープンしています。ぜひ遊びに来てくださいネ。

楽しみ隊では、その日に楽しみたいことをきめていきます。

まみキッチン参加費 実費

ありがとうコーナー

いっぱい、いっぱい ありがとうございます。

菊池さん、伊藤徳夫さん、山本悠介さん、松田収市さん、竹本保弘さん、親愛幼稚園、南木さん、松井さん

事務局からのお知らせ

月・火・金、13時～17時ご確認のうえ、お出かけ下さい。
月曜日は会員の家族相談をお受けしています。
一般の方は随時お伺いします。どちらもご予約下さい。

事務局からのお願い

家族会員・賛助会員・通信会員の募集をしています。
ボランティア支援者の募集をしています。
事務局にお問い合わせ下さい。
見学を兼ねて遊びにおいで下さい。

スケジュール

事務所開設日は、月・火・金、13:00~17:00 です

12月

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|--------------------|------------------|----|----------------------|----------------------|--------------|
| | | | | 1 まみキッチン ピンポン | 2 | 3 |
| 4 | 5 スタッフ会議 | 6 | 7 | 8 まみキッチン ピンポン | 9 | 10 ふくろうの会 |
| 11 | 12 スタッフ会議 自供法体操 | 13 | 14 | 15 まみキッチン ピンポン | 16 | 17 白浜夢ナリエ |
| 18 | 19 スタッフ会議 大掃除 | 20 Fの会 大掃除 | 21 | 22 まみキッチン ピンポン | 23 ふくろうの会 なべの会 | 24 |
| 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 |

2006年1月

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|--------------|--------------------|-----------|----|----------------------|------------------|------------------|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 8 | 9 | 10 | 11 | 12 まみキッチン ピンポン | 13 パイオグラフィワーク | 14 パイオグラフィワーク |
| 15 | 16 スタッフ会議 | 17 | 18 | 19 まみキッチン ピンポン | 20 | 21 語り合いませんか |
| 22 | 23 スタッフ会議 自供法体操 | 24 Fの会 | 25 | 26 まみキッチン ピンポン | 27 | 28 |
| 29 ふくろうの会 | 30 スタッフ会議 | 31 | | | | |

